

脱毛禁止事項

- 体調のすぐれない方
- 障害と考えられる事由（治療中の病気、外傷等、血圧等の疾患、変調等の自覚症状がある場合）がある方
- 既往症、持病、および体質（アレルギー・アトピーの症状が出ている箇所、医薬品の服用等）がある方
- 過度な日焼け直後の方（赤みがある、熱を帯びている、皮膚がめくれている）
- 妊娠中、または光過敏症の方
- 科学治療等の治療を受けられている方
- 抗生物質を含む薬を処方されている方
- 肝臓病、心臓病、その他の内臓系および循環系疾患のある方
- ペースメーカー等の循環機器を使用している方

【施術ができない部位】

粘膜（唇、乳輪、鼻孔、生殖器、肛門等）、傷、色素沈着、肝班、白斑、老人性色素班、雀卵斑（ソバカス）、色素細胞母斑（ホクロ、アザ）、眼球、まぶた、静脈瘤、色素欠乏症、血管奇形、美容整形部位、刺青・タトゥー

【施術ができない皮膚疾患】

皮膚がん、悪性黒色腫（メラノーマ）、ヘルペス、イボ、タムシ、白癬、とびひ、せつ（膿腫）、その他の皮膚疾患

【施術ができない内科疾患】

心臓病、肝臓病、糖尿病、てんかん・気管支ぜんそく、アトピー性皮膚炎、アレルギー体質（光アレルギー、光線過敏症等）、ケロイド体質、その他の内臓系および循環系疾患、体質に関わる疾患

【光線過敏症を起こす薬】

抗てんかん剤、筋弛緩剤、抗ヒスタミン剤、ニューキノロン系抗菌剤、利尿剤、抗がん剤、抗生物質、降圧剤、精神病・神経症薬、湿布薬、ハーブ、ステロイド、ホルモン剤、鎮痛剤、その他

上記は一例です。その他不安な事象はかかりつけの病院にご相談ください。